

2023年8月26日(土) - 11月23日(木・祝)

10:00~16:30 (16:00最終入場) 「六甲ミーツ・アート芸術散歩2023 beyond」の開催日程に準じます

会場：六甲山地域福祉センター

「六甲ケーブル山上駅」より徒歩約5分 (〒657-0101 神戸市灘区六甲山町西谷山 1878-133)

90年代から神戸を拠点に活動するアートコミュニティC.A.P.(キャップ/芸術と計画会議)は、2020年より連続して六甲山の芸術祭「六甲ミーツ・アート芸術散歩」に参加してきました。そして今年「六甲ミーツ・アート芸術散歩2023 beyond」でのC.A.P.は、2020年と2021年に実施した「C.A.P.による展示と交流の場としてのアートセンター」という趣旨を引き継ぎつつ、全く新しい会場「六甲山地域福祉センター」を舞台に、様々な交流や発見が生まれる芸術拠点であり、実験場(Laboratory)ともなる場所の創出を目指します。90日間にわたる会期を通して、C.A.P.メンバーによる実験的な企画を入れ代わり立ち代わり開催しながら、多様な人が関わる機会を作ることを通して、ただの観光地ではなくより様々な姿を持つ「六甲山」を提示します。

入場無料

(他会場には有料エリアもありますのでご注意ください)



六甲ミーツ・アート
芸術散歩 2023
ROKKO MEETS
ART beyond



問い合わせ

C.A.P. (特定非営利活動法人 芸術と計画会議)

〒650-0003 神戸市中央区山本通 3-19-8

神戸市立海外移住と文化の交流センター内

phone+fax : 078-222-1003 / 10:00-19:00 (月曜休み)

Mail : info@cap-kobe.com

HP : https://cap-kobe.com

CAP



2023年度 C.A.P. サポートメンバーシップ

(敬称略 / 2023年7月11日現在)

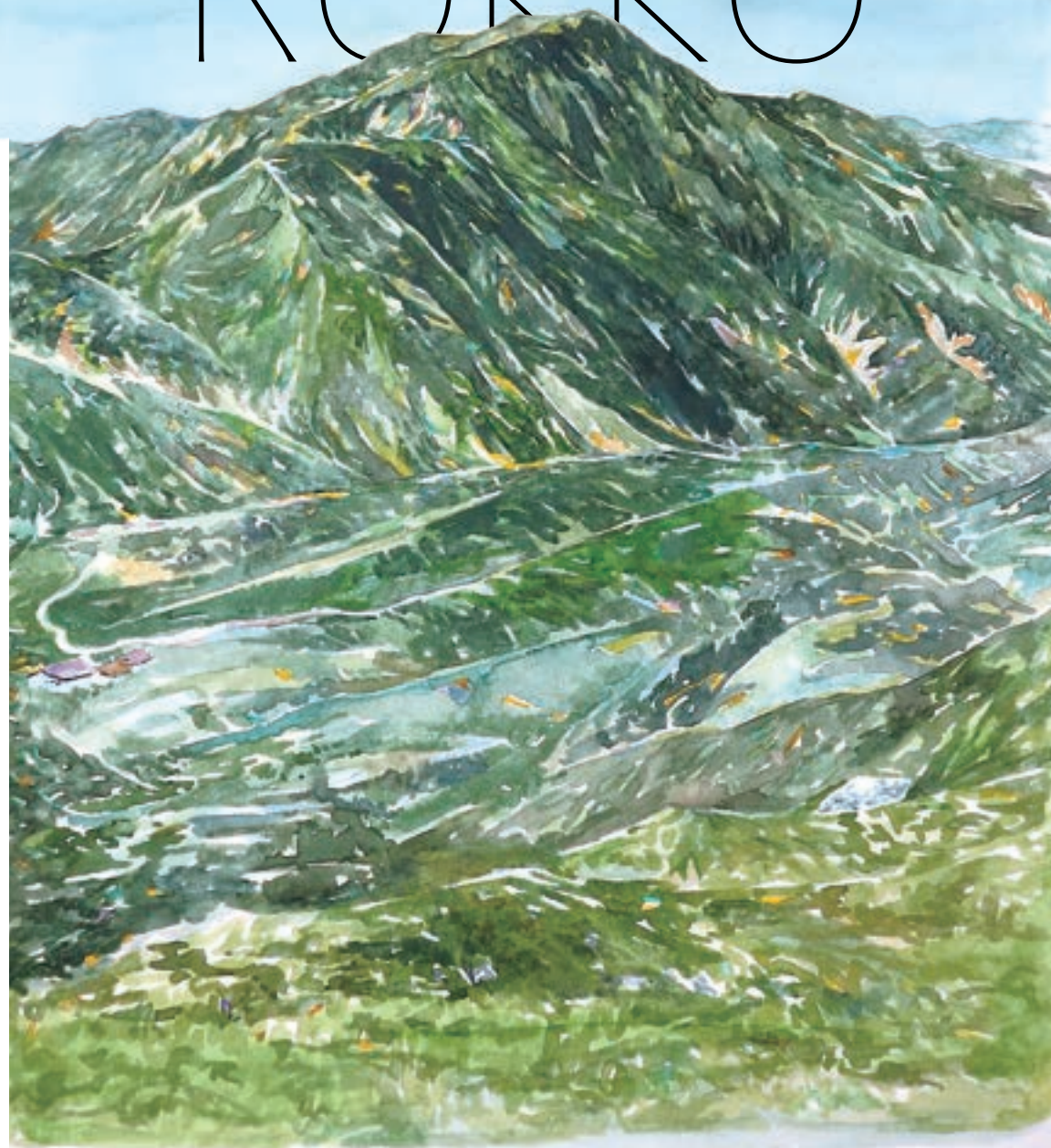
個人会員：浅野真弓 / 足立陽子 / 五十嵐奈穂子 / 井上よう子 / 岩出郁美 / 江上ゆか / 大野裕子 / 加川純子 / 加藤義夫 / 金山忠司 / 神尾和寿 / 神尾博子 / 河合美和 / 河村佳奈 / 窪田順 / 熊谷寿美子 / 小森彩 / 澤木久美子 / 四方敦子 / 芝地稔 / 杉山知子 / 高橋奈玉子 / 高橋佳輝 / 高見澤清隆 / JUN TAMBA / 永田康子 / 野口宗代子 / 林敬子 / 平田隆行 / 松尾良一 / 八木淳一 / 山川佳乃 / 山中佐緒理 / 山盛英司 / 遊免寛子

法人会員：(株) ロック・フィールド

メインビジュアル：奈良田晃治

C.A.P. produce

CAP LAB
ROKKO



この企画では、「六甲ミーツ・アート芸術散歩2023 beyond」の会期を通して、展示される内容が変わっていきます。タイミング次第では、公開で展示の入れ替え作業をしていることもあれば、トークイベントなどを実施していることも。会期を通して一貫してご覧いただける展示もあり、会期中は常にオープンしていますので、ぜひいつでも、何度でも足をお運びください。

8/26(土)~9/18(月祝)

六甲山町図書館



2022年からC.A.P.の会報誌として様々な情報を国内外へ発信してきた冊子capsule(キャプセル)。その編集部が主体となって、六甲山の歴史文化と結びついた、ここでしかできない本やZINEとの出会いの場を作ります。目玉となるのは、「六甲山」をテーマに様々な人に執筆してもらった文集的冊子「capsule六甲山特別号」。あなたの知らない六甲山の姿がここにあります。田岡和也さんによる登山記録「山のZINE」も展示予定！ 企画：capsule編集部 協力：兵庫図書館

9/23(土祝)~10/9(月祝)

六甲山町美術館

六甲山町のみなさんに協力してもらって、お家に飾っている美術作品をお借りして展覧会を開催します。有名画家の絵画から、思い出深い子どもの落書きまでなんでもアリ。かつては別荘地として有名で、大企業や著名人の別荘も多くあった六甲山。さて、どんな作品が集まるでしょうか。

企画：C.A.P.事務局



「脱ぎ捨てたばかりの潤った抜け殻の形」,2002,ぼん

8/26(土)~11/23(木祝)

野外展示「にわか庭」

出品：ぼん、清水聖弥

10/14(土)~10/29(日)

マウン展



「山(地すべり)」2021,奈良田晃治

参加作家：

川口奈々子・奈良田晃治・山村祥子

3名のアーティストによる山をテーマにしたグループ展。風景としての山だけでなく「ちりも積もれば山となる」「人生、山あり谷あり」などの比喩表現も含めて、人間にとっての「山」をそれぞれの角度から捉えた作品たちを展示します。会場となる「六甲地域福祉センター」は六甲山中にあり、住民の方々の憩いの場所。美術館でもギャラリーでもない特殊な環境を活かしたチャレンジングな展示にしたいと思います。

企画・コーディネーター：築山有城

コンクリート張りの六甲地域福祉センター裏庭。

そこに、陶芸作品による庭が現れます。出品するのはふたりの陶芸作家。庭を散策するように、それぞれの作品の間をぶらっと歩きながらご覧いただけます。センター内の展示に関係なく、開館時はいつ来ても見ていただける常設展です。

11/3(金祝)~11/23(木祝)

オブ字絵「ケア」



参考画像：オブ字絵「HOPE」

六甲地域福祉センターに野外設置するバナー(横断幕)をつくりたいです。六甲山で出会ったファウンドオブジェ(いらぬものの、廃棄物)を写真撮影し、その

画像から装飾文字をつくりたいです。この装飾文字を(ファウンド)オブジェによる字の絵=オブ字絵と呼んでいます。

* バナーの設置は11月に行ないたいです。会期中はセンター内に制作ドキュメントを展示します。

企画：山下和也

11/3(金祝)~11/23(木祝)

タオルペアハウス@六甲山

タオルペアのペアトリーチェと仲間たちが暮らす人形の家を、アクリルケースの中に身近な日用品や小物を使って制作しました。ペアトリーチェは、スイスのベルン出身の女の子。仲間たちにもそれぞれの物語があります。部屋の背景は、大好きなイタリアの街並みの写真をコラージュしたものです。子どもの頃、憧れだった人形の家。ふわふわタオルで自分の分身タオルペアを作って、タオルペアハウスに滞在したり、六甲山を散策してみませんか。期間中にWSを開催します。



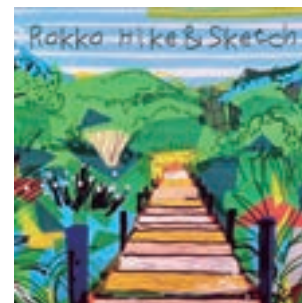
「ペアトリーチェの部屋」,2023,紙野永子

企画：紙野永子

9/9(土)

イベント

ROKKO ハイク& スケッチ



街中や山野に出て、スケッチや折り紙紙切り絵などを制作する柴山水咲と田岡和也。2人のアーティストと一緒に、六甲山をハイク&スケッチしませんか？

- 8:00 六甲ケーブル下駅に集合
- 8:30 油コブシ登山口スタート
- 10:00 ケーブル山上駅にて作品鑑賞
- 11:00 みんなのスケッチ紹介して終了
(六甲地域福祉センターにて解散)

詳細、参加申込：C.A.P.事務局

078-222-1003

info@cap-kobe.com

CAP LAB ROKKOではこれ以外にもイベント企画を進めています。「六甲ミーツ・アート芸術散歩2023 beyond」Webサイト内の「イベント」ページおよび、C.A.P.が運営する共同スタジオ「KOBE STUDIO Y3」のWebサイトより詳細がまとまり次第情報をアップしていきます。ぜひご確認ください。

KOBE STUDIO Y3

<https://cap-kobe.com/kobe-studio-y3>

